

リフォームサロン

おしえて！リフォーマー君！

「プロの介護士さんが教える、手すりをつけておくと良い場所は？」

リフォームや住まいに関する疑問・要望・お悩みを、我々がリフォーマー君が調査し、解決します！

今回のテーマは、ズバリ「介護リフォーム」です。

リフォーマー君がプロの介護士さんにインタビューしてきました！

インタビューの内容

Q

- ・お家の中で、どこに手すりをつけたら転倒を防いで安心に過ごせるか？
 - ・突然、家族に介護が必要になったり、また自分の身体が不自由になってしまった場合、どこの誰に介護のことを相談すべきか？
- という2点をお聞きしてきました。

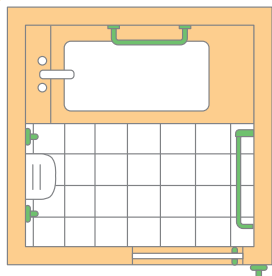
30代女性
介護士 Eさん



手すりをつけておくべき箇所

1位

お風呂



- ・浴槽から正面の壁
- ・浴槽の中
- ・風呂入口からの壁

床が濡れて滑りやすくなるため、
家の中で最も転倒してしまう可能性が高い。

2位

トイレ



- ・トイレトーパーの上(L字型手すり)
- ・トイレ入口からの壁

「トイレに早く行きたい」という焦りから急い
いでしまい、転倒してしまうことが多い。

3位

玄関ポーチ



- ・上がりかまちの横壁
- ・上がりかまちに式台を設置

数段の段差でも、高齢者の方にとっては
断崖絶壁のように感じるほど負担に感じる。



介護士の方からのメッセージ

年齢を重ねるとどうしても足腰が悪くなってきます。特に膝を曲げることが困難で、摺り足歩行になりつまずきやすくなるんです。ところが健康だったときの意識から「自分は大丈夫だ」と過信してしまい、絨毯やカーペットなどの微妙な段差でも転倒してしまいます。ひどいと骨折に結びついてしまうのですが、仮に手術をしたとしても高齢者の場合、健康な時のような体の状態に戻る可能性は極めて低いのが現状。そうになってしまう前に、手すりをつけて転倒の可能性を低くすることが必要ですね。もし家族の中で介護が必要な人が出てしまったら、まずは市町村の社会福祉協議会等のケアマネージャー(介護支援専門員)の方に相談してください。



リフォーマー君's EYE

「転倒防止にはまず手すりの設置から！」

今回インタビューをしたEさんをはじめ、介護のプロの方はみんながいつまでも元気に健康な体でいて欲しいと思っているみたいだよ！手すりだけでなく、お風呂の床を滑りにくい素材にしたり、和式トイレから洋式トイレに替えたり・・・高齢者や体の不自由な方だけではなく、妊婦さんや小さいお子さんなども暮らしやすくなり、もっとみんなの笑顔が増えるよね！ホットハートリフォームは、みんなの体に優しい住まいの空間づくりをお手伝いします。



幸せのヒントがいっぱい！イベントも盛りだくさん！
まずはショールームへ

大浜燃料株式会社
西尾ショールーム
お問い合わせ

愛知県西尾市山下町東八幡山67番地

みんなに クローバー

0120-372-968